

令和6年度上大久保中学校だより

上中だより

第8号

令和6年12月2日(月)発行

学校教育目標

「温かい学校 感動あふれる学校」

さいたま市立上大久保中学校

〒338-0824 さいたま市桜区上大久保861-1 TEL.855-3901

<http://kamiokubo-j@saitama-city.ed.jp>

「言葉の力」 校長 ^{たかく}高久 ^{まさゆき}正行

2024年(令和6年)も残すところ1か月あまりとなりました。今年は、1月1日に「能登半島沖地震」が起これ、その後も豪雨や台風、夏の猛暑のような「観測史上初」「過去に経験したことがない」という言葉を数多く耳にするほど自然災害・気象災害が多かったという印象があります。その一方で、パリオリンピック・パラリンピックでの日本選手団や大リーグドジャースの大谷翔平選手の活躍に大いに盛り上がった年でもあったと思います。この時期になると、「新語・流行語大賞」や「今年の漢字」といった今年一年を言葉で振り返る催しが開かれます。「新語・流行語大賞」にノミネートされた30語を見ると、スポーツ、音楽やドラマからの言葉に加え、「南海トラフ地震臨時情報」やノーベル平和賞に選ばれた「被団協」のような時事問題に関する言葉、また「裏金問題」「ホワイト案件」「令和の米騒動」といった言葉も選ばれています。これを見るだけでも今年もいろいろあったなあつくづく感じます。そして、今年の世相を表す漢字一文字を選ぶ「今年の漢字」では、オリンピックが開かれたここ2回の年はどちらも「金」が選ばれています。今年はどういう漢字になるのか密かに楽しみにしています。漢字一文字で今年を振り返るのは凄いいことだと思っています。

10月から行っている3年生との面接練習でも、「好きな言葉(座右の銘)」を尋ねていますが、多くの生徒が好きな言葉を答えてくれます。比較的自分自身を叱咤激励してくれる言葉を挙げているように感じます。このように我々の周りには、多くの言葉が溢れており、その中の言葉に元気をもらったり、気持ちを整えてくれたりしてもらっていることも事実だと思います。私自身、最近とても耳に残る言葉が2つあります。1つ目は、現在、毎週日曜日の夜にNHKで再放送している「坂の上の雲」という番組の冒頭ナレーションです。

まことに小さな国が開花期を迎えようとしている。・・・<中略>・・・彼らは明治という時代人の体質で、前をのみ見つめながら歩く。登っていく坂の上の青い天にもし*[※]一朵(いちだ)の白い雲が輝いているとすれば、それのみを見つめて坂を登っていくであろう。

※ 一朵の雲…空を流れる雲を数えるときの単位で、一筋の雲という意味

この「坂の上の雲」は司馬遼太郎さんの小説をドラマ化したのもので、伊予松山(現在の愛媛県松山市)出身で明治時代に活躍した秋山真之・秋山好古・正岡子規を描いたストーリーです。その冒頭に流れる俳優の渡辺謙さんによるナレーションはいつ聞いても心に響き、頑張っていこうという気持ちにさせてくれます。

2つ目は、詩人の谷川俊太郎さんの「生きる」という詩です。谷川さんは先日92歳でお亡くなりになり、生きていくということ
いま生きていくということ
それはのどがかわくということ
木もれ日がまぶしいということ
ふっと或るメロディを思い出すということ
くしゃみすること あなたと手をつなぐこと
<以下省略>

テレビ等でこれまでの経歴や作品等について紹介されている際に、この「生きる」という詩を目にしました。当たり前のことばかりなのですが、それが何故か心に残ります。紙面の関係で全文を掲載することはできませんが、インターネット等で検索すれば、すぐに全文を読むことができます。何も考えず、一読すると、心が洗われるような気持ちにさせてくれるかもしれません。

このように言葉は我々に元気をくれたり気持ちを穏やかにさせてくれたりするような力をもっていると思います。その一方で、使い方によっては逆の気持ちにさせてしまう恐れもあります。谷川さんは過去のインタビューで、「言葉のインフレ(言葉の量が増え、質が低下していること)」についてお話されていました。昨今のSNS等による安易な発信によりトラブルが起こることが多く見られます。折しも、12月4日から12月10日は「人権週間」となっており、本校でも人権朝礼を行う予定です。様々な人権問題を、自分以外の「誰か」のことでなく、自分のこととして捉え、互いの人権を尊重し合うことの大切さについて考えてもらう機会になってくれることを望んでいます。その中で、言葉が本来持っている力について改めて考えさせるとともに、周囲の人たちに対して使っている言葉についても意識を高めていけるよう引き続き取り組んでまいります。



11月16日の大久保東公民館文化祭での吹奏楽部の演奏、美術部の作品展示、7組の頒布会、また、23日の埼玉大学むつめ祭での合同演奏会に対して、多くの皆様にご支援とご協力をいただき誠にありがとうございました。また、上大久保自治協会並びに桜区避難所開設訓練には、本校生徒がのべ33名参加させていただきました。地域の諸活動に貢献できるよう、今後も学校として努めてまいります。